

愛媛県県立学校振興計画「第1回地域説明会（八西・西予地区）」での 主な御意見等について

令和4年8月6日～21日において、「愛媛県県立学校振興計画」策定の目的や計画（案）の内容などについて説明する第1回地域説明会を8地区で開催しました。

本地区における主な御意見等については、以下のとおりです。

項目	主な御意見等	県教育委員会の考え方
八幡浜	八西地区の3校を、いきなり1校に統合するより、段階的に統合した方がよいのでは。まず、八幡浜工業高校と川之石高校を統合するという案の議論はなされていないのか。	地域協議会においては、「段階的」な案も含め様々な議論が行われましたが、八幡浜市を始め地域から、「学校に余力があるうちに、地域の3校を1校に統合して、南予を代表する規模と内容を備えた学校にしたい」という意見が出され、それが地域協議会の総意として現在の形でまとまりました。
	統合後の八幡浜高校の、工業科の実習と総合学科の農業系列の実習は、どのように運用されるのか。	実習は、現在の八幡浜工業高校、川之石高校の施設や農場等において実施し、校地間の移動は学校バス等で対応することを検討しています。
	工業科及び総合学科が、統合後は各1学級で定員40名となっており、急激に減少していると感じる。	現在の八幡浜工業高校の工業科1学年の実生徒数は2学科で約50名であり、今後の生徒数の減少傾向を考えると、1学科として定員40名とすることが妥当であると考えています。 また、現在の川之石高校の総合学科1学年の実生徒数は6系列で約90名ですが、学校統合後は、6系列のうちの4系列は普通科・商業科に統合することとしており、残りの2系列（農業・福祉）で定員40名とすることが妥当であると考えています。
	現在の八幡浜市は看護師が少ない状況が続いているが、看護科は設置しないのか。	看護職員に求められる能力が多様化・高度化している中で、近年の看護師を目指す生徒は、高校の普通科等での教育課程を終了後、大学や専門学校等に進学し、正看護師の資格を取得することが一般的となっています。それに伴い、准看護師を養成する高校の衛生看護科の人気は下がり、全国的にも減少しています。

	<p>宇和高校の総合学科に農業の発展につながる生物工学系列を設置いただき、感謝している。</p>	<p>西予市の中核校である宇和高校の維持発展を目指し、生徒の個性を生かした主体的な教育を一層推進するための改革です。</p> <p>普通科と農業科のこれまでの成果を踏まえた総合学科に改編し、文理探究、情報マネジメント、スポーツ、生物工学の4系列を設置することで、学校全体の魅力化と高い進路実現を目指せる学校とし、周辺校とは異なる特色化を図りたいと考えています。</p> <p>なお、系列については、準備委員会での協議を経て、正式に決定します。</p>
西予	<p>西予市に中高一貫校を設置することについて、検討委員会及び地域協議会で過去に議論したそうだが、その後、どうなったのか。</p>	<p>宇和高校を母体とした中高一貫校を設置する案も協議されましたが、宇和中学校から地元高校への進学率が4割という現状を考えると、ただちに中高一貫校設置は現実的ではなく、まずは地元進学率を高めることに取り組むべきとの結論になりました。</p> <p>このため前期計画では、総合学科に改編して宇和高校の魅力化を図り、地元進学率を高めることを目指すこととしております。</p>
	<p>今後の野村高校と宇和高校の統合の可能性について、どのように考えているか。</p>	<p>令和9年度までの前期計画の間は、仮にどちらか1校あるいは両校とも、再編整備基準を達成できなくなった場合でも、計画案のとおり2校は存続させます。</p> <p>後期計画に向けては、志願者数等の動向次第ではありますが、両校の統合を検討することが必要になる可能性があります。</p>
	<p>宇和高校の総合学科に設置された4つの系列以外に、学校独自の系列を設置してよいのか。</p>	<p>現在提示している系列は、県としての現在の案を示したものです。今後、設置される準備委員会において、系列や授業の内容を検討していく中で、必要性が認められ生徒確保も十分に見込める良案があれば、設置の可能性を検討いたします。</p>